

# 発行にあたって

令和2年度（2020年度）は、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる道立の22の試験研究機関を統合して地方独立行政法人北海道立総合研究機構（略称：道総研）が平成22年（2010年）4月に発足してから、10周年を迎えた年でありました。

また、平成27年度（2015年度）からスタートした第2期中期計画期間が終了し、新たに第3期中期計画が始まった年でもありました。

この度、第2期中期計画の終了を機に、第2期中期計画期間中の道総研の研究開発の取組や成果について、多くの方々に知っていただくため道総研第2期成果集を作成することとしました。

第2期中期計画は、平成27年度（2015年度）～令和元年度（2019年度）の5年間を計画期間として、「食」「エネルギー」「地域」の3つを重点テーマとして設定し、総合力を発揮するとともに、外部機関との幅広い連携を進めながら、道民生活の向上や道内産業の振興に貢献する研究開発に取り組んで参りました。

また、各分野の特性を生かした研究開発も行い、数々の成果を生み出してきました。

本成果集は、多くの研究成果のうち、様々な形で活用されているものや活用が期待されるものを選びすぐり掲載いたしました。本成果集によって、道総研の取組内容を知っていただき、興味を持っていただくきっかけになれば幸いです。

また、道内企業や業界団体・大学関係者などの皆様におかれましては、共同研究や技術支援などでの、道総研を利用するきっかけとなれば幸いです。

令和2年度（2020年度）から第3期中期計画がスタートしました。今後、道総研は基本理念である「ほっかいどうの希望をかたちに！」の実現、夢のある北海道づくりに向けて、北海道の将来のあるべき姿を提言して、そして実行する「シンク&ドゥタンク」を目指して果敢にチャレンジしていきたいと思えます。これまでと同様、皆様のご支援とご協力をお願いします。

令和3年（2021年）3月

理事長  
田中 義克



## 基本理念

# ほっかいどうの希望をかたちに！

北海道立総合研究機構は、道民生活の向上及び道内産業の振興に貢献する機関として、未来に向けて夢のある北海道づくりに取り組みます。

### わたしたちの使命

わたしたちは、北海道の豊かな自然と地域の特色を生かした研究や技術支援などを通して、道民の豊かな暮らしづくりや自然環境の保全に貢献します。

### わたしたちの目指す姿

わたしたちは、世界にはばたく北海道の実現に向け、幅広い産業分野にまたがる試験研究機関としての総合力を発揮し、地域への着実な成果の還元に努め、道民から信頼され、期待される機関を目指します。

### わたしたちの行動指針

わたしたちは、研究者倫理や法令を遵守し、道民本位の視点とたゆまぬ向上心を持って、新たな知見と技術の創出に努めるとともに、公平かつ公正なサービスを提供します。